

瑞穂ケーブルテレビ株式会社

平成 28 年度 第 9 回番組審議委員会

《議事録》

平成 28 年 12 月 9 日

局長 田中洋子

日時：平成 28 年 12 月 9 日（金）18：25～

会場：日本亭

【出席者】

猪俣恒明（委員長） 石川 智 井上 明 小作正人（代理人島崎友介）
荻野喜美雄（会長）澤田廣造（社長）奥田貴哉（取締役） 石井明美（監査役）
田中洋子（局長）山崎英之 矢口和弥 後藤彩果 高橋 寿 小山桃子 鹿島美保

瑞穂ケーブルテレビ社長挨拶（澤田社長）

番組審議委員会は総務省の指導に基づき、番組に対するご意見等をホームページ等に掲載、公開させていただきます。

お忙しい中、番組審議委員会に参加ご協力いただき感謝申し上げます。

スタッフも限られた人数の中、より地域密着で番組作りを行っています。

番組に対する忌憚のないご意見をお願いいたします。

番組審議委員長（猪俣委員長）

一年の経過が早いと感じている中、番組審議委員会の開催に感謝しています。

都営住宅エリアが接続されたことにより、瑞穂町との約束が達成され、公費が入る条件が満たされました。これにより益々公平公正で、町民に愛され信頼される番組作りをお願いしたい。

より良い番組作りのため、身のある会議となるよう意見を出し合いたいと思います。

【審議事項】

1、レギュラー番組内容について（山崎社員）

加入可能世帯数：13,760 世帯

接続世帯数： 4,365 世帯 （加入率 32%）

「みずほテレビを視れば瑞穂町がわかる」を目指して取り組んでいます。

DVD 視聴に沿って番組紹介

ニュース番組「ほっと！みずほ」・情報バラエティ番組「みずほまち通信」
散歩番組「ぶらり瑞穂の裏道」・イベント紹介番組「ズームアップ！みずほ」
インタビュー番組「この人に聞く」・こどもサイエンス番組「科学で遊ぼう！」
部活紹介番組「みずほ熱血クラブ！」・歴史番組「ふるさと歴史探訪」

取材数 905 本（年間）

- ・取材内容ジャンルを問わず話題性のあるものをピックアップ
- ・町内の出来事に特化、町内の多くの人たちを放送に載せる。

2、生中継番組説明（山崎社員）

年間 5 回 イベント中心に生中継実施。

- 1 月：瑞穂町駅伝競走大会
- 5 月：残堀川ふれあいイベント
- 7 月：三地区合同夏まつり
- 8 月：みずほサマーフェスティバル
- 11 月：瑞穂町産業まつり

その他スポーツ収録

- 3 月：瑞穂ケーブルテレビ杯少年野球
- 10 月：町民体育祭（28 年度は雨天中止）

基本的に、瑞穂町内の大きなイベントはすべて放送。

より良い映像を配信できるよう、毎回新たな試みをおこなっている。

3、新番組等の企画について（山崎社員）

- 「みずほ熱血クラブ」：何かに打ち込んでいる人たちを紹介
- 「ふるさと歴史探訪」：瑞穂町の歴史を紹介（4K 撮影）
- 「スマイルスタジオ」：グループ 4 局合同制作

4、特別番組について（山崎社員）

- ・年末特番
- ・年始特番
- ・瑞穂中学校吹奏楽部金賞受賞
- ・戦争体験（瑞穂町役場企画）
- ・瑞穂町議会一般質問の様子を、議会開催の翌週月曜日より放送

5、他社制作番組

- ・東海大学制作「知のコスモス」
- ・中央大学制作「多摩探検隊」「知の回廊」
- ・日本ケーブルテレビ連盟制作番組

6、災害報道について

- ・台風9号の直撃を受けた瑞穂町内の被害状況を取材→放送。
(当日のレギュラー番組を差し替えて放送) SNS の活用、また入間局・FM チャッピーと連携しながら報道を実施。

7、役場広報番組について

- ・2017年6月開始予定、プレ番組「みずほ情報局(仮)」作成

8、瑞穂ケーブルテレビ サービス内容紹介(矢口社員)

主軸のテレビ・インターネット・ケーブルプラス電話サービスに続き、第4のサービス：格安スマホ「スマイルフォン」サービスについて特に大手3キャリアのサービスと比較し、訪問サービスが可能のため、高齢者や初心者に好評。また28年度開始の「スマイルでんき」は加入者様限定のサービス。更に加入者様への優待サービス「スマイルクラブオフ」を紹介。「すぐやろう！」を合言葉に丁寧で迅速なお客様対応を行っている。

9、意見交換

猪俣：28年度加入率32%となり瑞穂町との約束が達成できずは喜ばしい事。

瑞穂町内の学校への導入は不可欠ではないか？

田中：小学校5校、中学校2校の現場調査はすでに終了。幹線のひかり化により導入可能確認済。教育委員会に働きかけ回答待ち。

実際に教育現場から視聴したいとの声を聞いていますので是非導入実現に向け努力していきます。

猪俣：学校の放送番組を視聴したいことが、加入増加につながると思う。

会長：将来的には生徒ひとりひとりにタブレットが配布され、タブレットを使用した授業が行われる見込みがあるため、学校への導入はテレビ視聴だけではなくインターネット環境を構築する意味でも必要不可欠となるはず。

石川：多チャンネルはあまり視聴していないが、視聴率の調査はできるものなのか？

会長：現在インターネット回線を介してデータを調査することが可能となっている。

井上：地域のイベントなどきめ細かな取材に感謝します。ただ一週間スパンの放送

は長すぎではないか？

田中：現状では、人間的にも今以上に短いスパンでの放送は不可能です。

猪俣：一週間の放送は、お互いに放送内容の情報交換ができ良い面もある。

石川：プレイバックみずほ！！は季節に合わせて放送しているのか？また古い番組ばかりの声を聞くことがあるが、どうなっているか？

山崎：古いテープ素材をデータ化して保存する目的があり、その際放送に乗せて視聴していただいている。季節感はズレがないよう気をつけます。

社長：過去の素材は町の財産であり、昔を懐かしんでもらうことにもなる。

会長：入間局では、毎年成人式の際過去に放送した素材を提供している。

島崎：SNS、ツイッター、フェイスブック等には載せていますか？

山崎：災害時には SNS に載せ発信しています。通常でもその都度取材の裏話や必要な情報は発信しています。

猪俣：取材本数の多さに感心している。

田中：制作課の努力により取材依頼にはほぼ 100%答えています。

10、瑞穂ケーブルテレビ会長挨拶（荻野会長）

審議委員様の貴重なご意見をいただきありがとうございます。

今年度新たに幹線を回した都営瑞穂アパートは、住人の高齢化等が懸念されていましたが、お陰様で加入が増加し瑞穂町との約束 3 割超えが実現できました。更に瑞穂町との連携を強化し、瑞穂町発展の一助となれば幸いです。

「ひかりサービス」の普及を始め、瑞穂町 IT 化のけん引役として、様々な新サービスを展開してまいります。

11、締め挨拶（奥田取締役）

2020 年開催の東京オリンピックに向け 4 K 放送も本格的な動きを見せているため、弊社でも対応を進めていきます。

グループ 4 局でのスマイルスタジオを立ち上げ他地域への情報を発信しています。またインターネットの普及により発信の場も増えています、4 K 撮影を進め瑞穂町を国内外に紹介できるよう努めてまいります。

入間局の番組審議会でも瑞穂局の番組が高い評価を得ています。更に良い番組を制作するため、今後もお力添えをお願いします。

以上貴重なご意見を頂きました。

本審議会のご意見は、番組に反映させてこそ開催意義が生じます。社員一同、貴重なご意見を番組作りに展開してまいります。